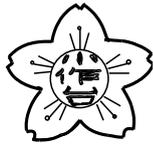


よく考える子
思いやりのある子
げんきな子



学校通信 小作台

第 2 号
令和 7 年 4 月 2 8 日
羽村市立小作台小学校

先の保護者会でもお話をさせていただきましたが、改めて令和7年度小作台小学校の経営方針【概要】をお示しいたします。

学校経営方針【概要】

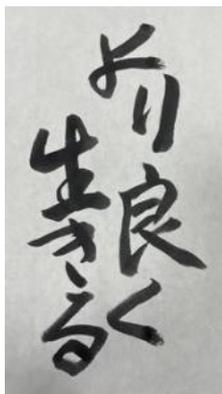
学校教育目標 よく考える子 思いやりのある子 げんきな子

目指すべき学校像 「地域と共に・主体的に学ぶ子供が育つ学校」

重点取組

- 1 全職員で全児童を育てる体制づくり(情報の共有、指導方針の共有で一致した指導)
- 2 地域・保護者との連携の強化(協働的学びの実践)
- 3 主体的に学ぶ児童の育成(見通しをもち・振り返り・改善する)

重点項目	具体的な取組	目的・ねらい
全職員で全児童を育てる	いじめ防止対策、特別支援教育の充実、交換授業の運用、アクティブタイムの活用など組織的対応	すべての児童が安心して過ごし、育つ学校づくり
地域・保護者との連携	道徳地区公開講座、地域体験、情報発信(HP・通信)	信頼される学校づくり、地域とともに育てる教育の実現
主体的に学ぶ児童	基礎的・基本的な学力の定着、国語科を中心とした授業改善の取組、キャリア教育、計算タイム・読書活動の推進	考える力・学び続ける力の育成 対話力・発信力の醸成



「すべては子供のために」という基本方針のもと、本校では、教職員だけでなく保護者や地域の皆様とも連携しながら、子供たちが安心して学び、心豊かに成長していけるような学校を目指します。そして、子供たち一人一人が自分らしさを発揮しながら、将来にわたって社会の中で力強く生きていくための「より良く生きる力」を育てていきます。

今後、学校通信を通して具体的な取組を「明日のための」と題してお伝えしていきます。

～ 学 校 の 様 子 ～

1年生を迎える会・・・4月15日（火）

体育館に全校児童が集まり、1年生を迎える会を行いました。今年度入学した1年生は、50名です。在校生が待ち構える中、6年生と手をつなぎ、代表児童が持つ花のアーチをくぐって入場しました。代表委員の司会で会は進行し、1年生は、挨拶の言葉と「いちねんせいになったら」の歌を披露しました。緊張している様子でしたがしっかりと発表することができました。全校〇×クイズでは、校歌に出てくる動物の問題や校長先生や1年生の担任の好きなものについての問題などが出され、会場はとても盛り上がりました。最後に、全校で校歌を歌い温かい雰囲気の中、会は終了しました。



委員会紹介集会・・・4月24日（木）

各委員会の委員長になった6年生が、委員会の活動や全校児童へのお願いなどをテレビ放送で発表しました。原稿を確認しながら開始を待っていた子供たちでしたが、始まるとどの委員長もはきはきと発表することができ、とても立派でした。これから小作台小学校のリーダーとして活躍してくれることを期待しています。



～お知らせ～

○職員の異動（転出・退職について）

教諭（産休代替）	山崎直子	退職（国立市立国立第七小学校新規採用）
講師	下田平卓也	退職（福生市立福生第三小学校新規採用）
学校図書館司書	町田桂子	勤務校変更（羽村市立羽村西小学校へ）
特別支援教育支援員	渡邊まき	退職

○保護者連絡ツール「まなびポケット」について

羽村市では、学校と保護者の連絡ツールとして「まなびポケット」を導入し、出席連絡や学校からの一斉連絡を行います。4月25日（金）に資料を持ち帰っていますので、手順に従って、5月7日（水）までに準備をお願いいたします。5月12日（月）より、出席連絡は、「まなびポケット」を使用していきます。

明日のためのその①【自己肯定感を育む教育の実践】

校長 清水 治彦

自己肯定感とは、「自分はかけがえのない存在だ」と感じる気持ちのことです。子供たちが「より良く生きる」ためには、この感覚をしっかり育てることが欠かせないと私は思っています。では何をどうすれば、子供たちに自己肯定感を育むことができるのでしょうか。

まず大切なのは、「できた！」という成功体験を積み重ねることではないでしょうか。それは小さなことでもいいのです。運動が苦手な子が縄跳びで一回でも跳べた時。それまで文字を丁寧に書くことができなかった子が自分の名前を丁寧に書いた時。「やったね！前より上手になったよ。」と周りの大人が(場合によっては子供同士でも)声を掛けると、その子は自分に自信を持ち始めます。「できないこと」に目を向けるのではなく、「できるようになったこと」「頑張ったこと」に光を当てることが大切だと思うのです。

また、日常のちょっとした場面での「認める関わり」も効果的だと思っています。例えば、友達に優しくできた子に対して、「〇〇さんに優しくしていて素敵だったよ。」と伝える。子供の性格やその時の雰囲気によっては皆の前で伝える。これは評価ではありません。事実としてその行動を言葉にして返すだけです。このようなことを通して「自分は人の役に立てる。」と実感できるのです。これは、「人としての良さ」を認めることにつながります。

学校においては、「学級」の雰囲気づくりも重要です。子供同士が互いを認め合えるよう、「友達のいいところを見付けよう。」「今日クラスで嬉しかったことを話そう。」などの活動は既に各クラスで取り入れ実践を重ねています。このような活動を通して肯定的な人間関係が築かれていきます。自分も仲間も大切に思えるようになれば、子供たちは自然と自分に自信をもつようになると考えます。

当然私たち大人には、子供たちを「無限の可能性をもつ【個】」として見つめる姿勢が求められています。失敗した子供に「どうしてできないの？」ではなく、「どうしたらうまくいくかな？」と共に考える言葉掛けが、子供の心に安心感を与え、未来につながると私は思います。

自己肯定感は、一朝一夕に育つものではありません。日々の関わりの中で少しずつ育んでいくものです。日々変わらぬアプローチによって、子供たちは困難を乗り越える力や、人とのつながりを大切にすることを身に付けていくのではないのでしょうか。「より良く生きる」ための第一歩は、友達や自分を大切に思うこと。その土台を、皆様と歩を共にして丁寧に築いていきたいと考えています。

5月の行事予定

日	曜日	給食	行事
1	木	○	
2	金	○	特別時程 委員会
3	土		憲法記念日
4	日		みどりの日
5	月		こどもの日
6	火		振替休日
7	水	○	特別時程 心臓検診（1年生）
8	木	○	遠足（2年生：昭和記念公園）
9	金	○	遠足（3年生：永山丘陵）
10	土		短縮時程 授業公開 セーフティ教室（5・6年）
11	日		
12	月		振替休業日
13	火	○	セーフティ教室（1～3年生）内科検診（4・5年生）
14	水	○	特別時程 セーフティ教室（4年生）
15	木	○	消防写生会（2年生）名栗移動教室説明会（5年生）
16	金	○	オーケストラ鑑賞教室（3・5年生：ゆとろぎ）
17	土		
18	日		
19	月	○	全校朝会
20	火	○	日光移動教室（始）
21	水	○	特別時程
22	木	○	日光移動教室（終）
23	金	○	
24	土		
25	日		
26	月	○	特別時程 全校朝会 クラブ
27	火	○	遠足（1年生：羽村市動物公園）
28	水	○	特別時程 引き渡し訓練（5校時） 歯科検診（1～3年生）
29	木	○	交通安全教室（1年生）自転車教室（3年生）
30	金	○	名栗移動教室（始）
31	土		名栗移動教室（終）

5月の行事予定は、令和7年4月25日（金）時点での行事予定です。やむをえず予定を変更する場合があります。その際は、学級通信等でお知らせします。